



テント倉庫の「骨組み」について

創刊号より「テント倉庫とは？」をテーマにお届けしております。
最終回の今回は「骨組み」の構造とテント倉庫の代表的な形についてお届けいたします。

トラス構造について

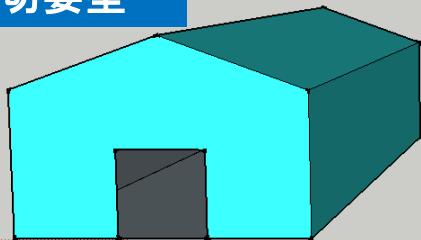


当社のテント倉庫は、骨組みに鉄パイプを使用した「トラス構造」で設計しております。
「トラス構造」とは三角形を基本とした構造で、直線部材をピン節点で組み上げた骨組構造です。強度を保ちながらも、鉄骨の軽量化が可能になり、コストの削減、工期の短縮につながります。また曲線の製作が可能のため、天井部をアーチ状にすることも可能です。

テント倉庫の形状について

トラス構造で、設計した代表的なテントの形と各形状のメリットを簡単にご説明いたします。下記以外にも、側面に膜材を張らず荷捌き場として使用したり、倉庫本体を蛇腹式に開閉する設計も可能です。詳細は当社担当までお問い合わせください。

切妻型



同じ角度の屋根を左右につけた型です。テント倉庫で最もポピュラーな形になります。各種オプションも設置しやすく、様々なお客様からご依頼頂く型です。

円弧型



屋根の形状が円弧になった型です。

高さを抑えながら敷地面積を確保できます。

片流れ型



1枚の屋根を斜めにつけた型です。

既にある建物の横に建てたいと、ご要望頂いた際に提案しております。

「テント倉庫とは？」をテーマに全3回でご紹介しました。次号からは実際のテント倉庫の施工風景をお届けします。

今月の 完了報告書



ご安全に！
本コーナーでは弊社にて施工完了しました
物件をご紹介します。



施工内容

施工場所	栃木県 宇都宮市
サイズ	W40m×L11m×H5m
使用膜材	ハリケーン (アイボリー)
オプション	—

現場からのコメント

片流れテント倉庫を施工しました。開口を大きく取り、風が通りやすい構造で検討し、芯材カーテンを取り入れることでしっかり風にも耐えることの出来るようご提案しました。また庇を設けることで開口部からの雨を防ぐことができます。膜材も明るい色 (アイボリー) にしたことで日中は照明がなくても明るく業務が行えます。

施工管理担当 S.S



新米営業の恵那テント日報



ご安全に!! 営業部 中畑です。

今回は当社シノダックについて少しお話させていただきます。「当社は岐阜県 恵那市で創立は昭和……」と、書き始めますと、少ない枠がすぐ埋まりますので割愛します。続きはWebで!!

だいぶ抜粋する形になりますが当社名とロゴマークについてご紹介致します。

当社は平成16年にこれまでの「シノダシート内張店」から「シノダック」へと社名を変更しました。

もともとの屋号であった「SHINODA」に「『A』dvance (前進)」「『C』reativity (創造性)」の頭文字を取り今日の「SHINODAC」と相成りました。ロゴは「SHINODAC」の「S」文字の螺旋部分で創造への挑戦過程を、出口に付けた矢印でお客様へ創造をお届けするとの想いを込めております。

社員一人一人が考え、行動していくを理念のもと日々の活動に精進しております。是非、当社に難題お申し付けください。社員一同全力で、ご要望に挑戦し、新しい創造性をご提供いたします。

まずは当社HPのお問い合わせフォームまでご連絡ください!!

それでは本日もご安全に!!

施工管理 白木の 安全講習

「今日も一日ご安全に!!」



人間が集中できるのは15分程度です。
しかし作業には安全面や品質面等、注意すべきことが多々あります。
そこで『目』だけで確認するのではなく、『目・体・口・耳』で確認する方法が『指差呼称』!! 確認すべきものを指差呼称することでヒューマンエラー防止に繋がります。ぜひ試してみてください。



〒509 - 7201 岐阜県恵那市大井町2695 - 875
TEL : 0573 - 26 - 4488 FAX : 0573 - 26 - 4489